倍音声明と身心変容　　　　　　　　　　　京都大学こころの未来　2014/7/24　永澤哲

1. 瞑想とバイオエナジェティックス（ライヒ→ローエン）

呼吸の抑圧→感情の抑圧→筋緊張

Cf.　中国医学（臓器と感情）、整体、ヴィパッサナ瞑想、倍音声明、バウム画と疾病

1. 倍音声明の音構造

自然の音（森、水、滝、川）；可聴音＋超音波→感性脳（快感＋免疫）

バリ島のトランスとブータンの僧院音楽（チベット仏教）

cfダライ・ラマ五世の秘密の日記

倍音声明　～20000Hz(8000Hz)：高次倍音→sense of wonder

1. 倍音声明の脳科学

8週間プログラムによる計測（おもにMEG）

４、倍音声明と遺伝子発現

 Kandel→記憶、瞑想、タンパク質、遺伝子。

　　遺伝子発現解析。神経伝達物質。抑制遺伝子。カスケード分析。

５、科学の限界点

＊生物医学の限界点―意識のハードプロブレム

　意識の起源：「創発」（ヴァレラ）、「現象転換」（エーデルマン）

　＊生物医学の問題―ex.トゥムモ（ATP、ADPモデルの限界）

　　・Cf.甲田療法（甲田光雄『少食が世界を救う』）　150kcal/日

　＊心と心の本性：トゥクタムの計測（2009～）

　　・トゥクタム（数日～数週間）：心停止、呼吸停止、死後硬直がない。

瞑想のポーズを保つ。

Cf.脳死状態からの生還（2008　アメリカ）

'Dead' man recovering after ATV accident

<http://www.msnbc.msn.com/id/23768436/>

　＊意識の転移

６、幸福と持続可能性―第八次エネルギー体系、幸福・欲求の多層性、死と共に生きる文明へ